□□ CMS News Letter □□□□□□□□□□□□Core Micro Systems □□□

Microsoft Windows Server & Hyper-V 向け
スケールアウトクラスタソリューションの新版「Melio 4.0シリーズ」を
販売開始

～「Melio4.0」を搭載したハードウェアアプライアンス3製品も同時発表～

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ Vol.020 2011/12/26 □□

いつもお世話になっております。
コアマイクロシステムズの吉政でございます。

本年も大変お世話になりました。ありがとうございます。
今年はもともとの仮想化市場の隆盛に加えて、BCP対策システムのニーズの拡大も重なり、何かと忙しい一年でした。

今年最後のメルマガは標記の発表の件と仮想関係の資料公開を中心にお届けします。

来年もストレージ技術の会社として皆さまにご評価いただけるストレージソリューション多く世に出していくと思います。
引き続き宜しくお願いいたします。

□□ INDEX □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

[News & Topics]

◇12月21日発表

Microsoft Windows Server & Hyper-V 向け
スケールアウトクラスタソリューションの新版「Melio 4.0シリーズ」を
販売開始

～「Melio4.0」を搭載したハードウェアアプライアンス3製品も同時発表～

[Web更新情報]

・スケールアウトクラスターソリューション「Melio」資料8種を公開
・ハイブリッドクラウド化と広域マルチサイトDRを実現するTwinStrata社の
　資料7種を公開
・OSS分散ファイルシステム「GlusterFS」の資料を公開
・Open Solaris / ZFSベース オープン ストレージ ソフトウェア
　「NexentaStor」の資料を公開

詳細は⇒　http://www.cmsinc.co.jp/news/index.html

[ストレージ・マーケティングコラム]

第七回：クラウド向け『半導体ストレージ』について

□□□

◆◆>[News & Topics]<◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

[News & Topics]

◇12月21日発表

Microsoft Windows Server & Hyper-V 向け
スケールアウトクラスタソリューションの新版「Melio 4.0シリーズ」を
販売開始

～「Melio4.0」を搭載したハードウェアアプライアンス3製品も同時発表～

原文：http://www.cmsinc.co.jp/news/2011/news20111220.html

解説：
本ソリューションの特徴は以下です。アクセスの集中によるパフォーマンス劣
化に対してハード増設で対応できるため、即効性が有る投資対効果が高い
ソリューションだと思います。（吉政忠志）

・Hyper-Vスケールアウトクラスタを低価格に実現する
・Citrix VDIソリューションの高速高可用性スケールアウトを可能にする
・Windows Serverの各種（NAS、WEB、メール、SQL、Media）エンタープライズ
　アプリケーションの完全スケールアウトソリューションを実現する

◆◆〉[ストレージ・マーケティングコラム]〈◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

第七回：クラウド向け『半導体ストレージ』について

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

あっという間に普及し、あっという間に競争が激化してきたクラウド市場です
が、価格競争も始まり、低コストとハイパフォーマンスが求められています。

ストレージに求められるのは堅牢性はもちろん、早くて安いことも大きなニー
ズになっています。速さを求めるのでしたら、SSD（半導体ストレージ）が候補
にあがってきますが、フルSSDのクラウドサービスはどうしてもコストが高く
なってしまいます。

ちなみに弊社はフルSSDのIaaSとして知られるITコア社の「GrowServer2010-Ⅱ
super」に弊社のSSDストレージ製品を納めています。

詳細は以下をご覧下さい。
http://www.cmsinc.co.jp/news/2010/news2010062901.html

上記のサービスはフルSSDといっても、ハイグレード向けのサービスであり、
安価なグレードのサービスにはSSDは採用されていません。

つまり結局は価格とパフォーマンスのトレードオフになりがちなのです。
そこで、「QoSストレージ」という考え方が出てきます。

そもそも、「ストレージのQoS」とは何かというと、サーバからの処理要求に対
して優先順位をつけてストレージ処理を行うことで、効率よく処理し、アプリ
ケーションごとの性能を維持させる機能を指します。

特にクラウドや仮想環境のように複数のサーバが1台のストレージを共有してい
る場合は、サーバ同士の処理がストレージ内部で干渉し合う事が起こり、高い
性能が必要なアプリケーションに対して安定的なパフォーマンスを維持できない
場合があります。 そこで、サーバからの処理供給に優先順位をつけてストレー

ジで処理をしましょうというQoSの考え方に注目が集まっています。

このメルマガの読者の方々はすでにご存じの方が多いと思いますが、最後にQoSストレージの例として弊社製品をご紹介します。
以下のページから詳細資料のダウンロードもできますので、お気軽にご利用ください。

Super SSD
http://www.cmsinc.co.jp/products/superssd.html
Super SSD は、既に高い評価を頂いているRAM SSD（Solid Stor）の容量問題と価格問題を解決すべく開発された先進の大容量RAM Cached SSD です。RAM Cacheは最大で192GB（近く1TB まで対応）、SSD 容量は最大で6TB まで対応することができます。

Super CACHE
http://www.cmsinc.co.jp/products/supercache.html
Super CACHE は、先進的なB+TREE 検索方式のキャッシュメカニズムを採用することにより、超高速検索（1μ秒以下）と超大容量を同時に実現しました。オブジェクト指向なキャッシュ管理により、対象ストレージ装置に対するキャッシュ割当、構成を柔軟に設定することができます。また一般的なバッファキャッシュと違い、大容量常駐キャッシュ特性及びインテリジェントなキャッシュアルゴリズムにより従来にない大幅なキャッシュヒット率向上を達成します。

（マーケティング・アドバイザー　吉政忠志）

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
※　CMS News Letterについては下記にバックナンバーをアップしています。
　　http://www.cmsinc.co.jp/mm/mailmagazine/index.html

編集後記

今年もたくさんお世話になりました。このメルマガも20号になり、感慨深いです。私はマーケティングアドバイザーの仕事としてマーケティングの活動支援をあちこちの会社で行っています。その経験から感じるこは、正しいマーケティング戦略をすれば、確実に成果が出るということです。マーケティングほど素直なものはないと個人的に考えています。良い製品を誠実に全力で告知してまいります。来年も引き続き宜しくお願いいたします！（吉政）

コアマイクロシステムズでは、お客様事例を募集しております。事例公開にご協力いただきましたお客様の社名やお取り組みを弊社のホームページや販促資料に記載し、皆様のビジネスの露出度向上に些少でも貢献出来ればと思います。
お気軽に弊社担当までお申し付けください。
―◇本メールマガジンの登録解除方法◇―――――――――――――――
このメールに対する登録解除は★そのまま返信★でその旨をお伝えください。

本メールマガジンの送付先追加と送付先変更方法
このメールマガジンに★そのまま返信★で下記の項目をCut & Pasteして項目を埋め、返信して下さい。

変更の場合、旧送付先：
（１）メールアドレス：
（２）氏名　　　　　：
（３）会社名　　　　：

（４）部署名　　：
（５）役職名　　：

発行人：コアマイクロシステムズ株式会社　吉政　忠志
――――――――――― (C) Core Micro Systems Inc., All Rights Reserved ――